

# トビイロウンカの生態と防除

J Aグループ和歌山農業振興センター 技術参与 本田 孝志

和歌山県内では、令和2年産の水稻においてトビイロウンカの甚大な被害が発生しました。今年は被害を出さないよう、適切な防除に努めましょう。

防除のポイントは効果の高い箱処理剤の使用です。「スクラム箱粒剤」は新規成分トリフルメゾピリムを含み、本田で長期間防除効果が持続します。さらに、出穂前後の防除を丁寧に行うことにより、トビイロウンカの被害を防ぎましょう。

## ○水稻に発生するウンカの種類

水稻に発生するウンカには「トビイロウンカ」「セジロウンカ」「ヒメトビウンカ」の3種類があります。この3種類のウンカは、カメムシ目ウンカ科の昆虫です。ここでは、水稻に坪枯れを発生させて大きな被害をもたらす「トビイロウンカ」について説明します。

種類	越冬・飛来	寄主植物	水稻被害
トビイロウンカ (秋ウンカ)	中国大陸から飛来 日本で越冬しない	稲のみ食害	坪枯れを発生
セジロウンカ (夏ウンカ)	中国大陸から飛来 日本で越冬しない	稲のみ食害	
ヒメトビウンカ	中国大陸から飛来 日本で越冬する	稲に加えて、イネ科雑草も食害	縞葉枯れ病を伝染

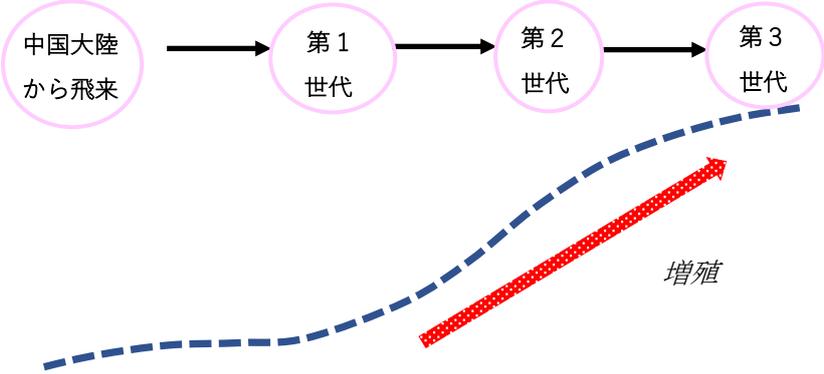
## ○トビイロウンカの特性

- ・梅雨時期を中心に中国大陸から飛来する
- ・1世代は25日程度、気温が高いと成長が早まる  
(30℃を超えると成長が鈍化)
- ・夏には稲の株元に多く生息し、茎や葉から養分を吸汁する
- ・あまり移動しないので、密度が高くなって坪枯れを発生させる
- ・冬になると吸汁する稲がなくなるので、日本では越冬できない



卵	・大きさは1mm程度、7～9日程度で幼虫になる
幼虫	・稲の茎や葉から養分を吸汁して成長、幼虫期間は14日程度
成虫	・体長は4～5mm、オスは濃い褐色、メスは淡い褐色 ・メスは合計400～500個程度の卵を産む ・長翅型と短翅型（飛来・長翅型、夏・短翅型が多い、収穫時・短翅・長翅型が混在） ・短翅型は成長が早く、メスの産卵数も多い

## トビイロウンカの飛来・増殖

	6月	7月	8月	9月
水稻の生育 	田植え 		出穂 	稲刈り 
トビイロウンカ の増殖パターン (イメージ)				

※飛来時期や増殖パターンは、年により差があります

### 〈トビイロウンカの飛来〉

- ベトナム北部や中国海南島などでは一年中発生
- ↓
- 中国南部に生育拡大 (4~5月)
- ↓
- 梅雨期に下層ジェット気流に乗って日本に飛来  
(前線の南側を吹く南西からの強い風)  
九州を始め、西日本で被害が多い



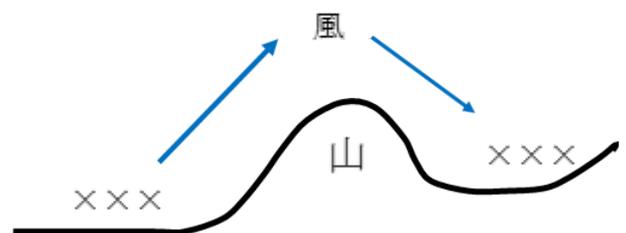
〈近畿地方の梅雨〉

梅雨入り      梅雨明け

- 令和2年 6月10日 ~ 8月1日
- 令和3年 5月16日 ~

〈飛来の特徴〉

- ◎ 県内のどこでも飛来する可能性があります。
- ◎ 特に飛来しやすい地形は
  - 西よりの風が低い山を越えて風がよどむ所
  - やや開けた谷沿いで風がよどむ所
  - 高い建物や堤防等の近くで風がよどむ所



# 令和2年和歌山県水稲でのトビイロウンカの被害

- ・県内で広く被害が発生したが、特に中山間地域で被害が多発
- ・8月中旬以降（盆以降）に坪枯れが目立ってきた
- ・県南部の早場米地域では被害が少なかった（稲刈り8月中下旬）



**【トビイロウンカが増殖した要因】**

- ・梅雨明けが遅く、飛来数が多かった（近畿地方の梅雨）  
令和2年6月10日～8月1日（平年6月7日～7月21日）
- ・8月に晴天の日が多く急増  
少雨・高温で増殖率が高い（30℃を超えると増殖はやや鈍化）

# 防除のポイント

6月上旬田植えの例（※令和3年は梅雨入りが早いいためトビイロウンカの飛来も早くなる可能性があります）

6月	7月	8月	9月
田植		出穂	稲刈り
↑		↑	↑
箱処理剤		出穂前防除	出穂後防除

## 箱処理剤

- ◆ 苗に粒剤が均等にかかるよう、ていねいに散布
- ◆ 本田防除までは期間が長いので、効果が長期間持続する箱処理剤を使用

水稲統一農薬「**スクラム箱粒剤**」  
ウンカ類、チョウ目  
紋枯病、いもち病に効果  
★ウンカ類に長期間効果が持続

## 本田防除

- ◆ 水和剤等の散布・株元まで農薬が届くよう、ていねいに散布する
- ◆ 豆粒剤・水管理に注意し、散布後4～5日は湛水状態を保つ
- ◆ 晩生品種は追加防除が必要な場合があるので、トビイロウンカ発生状況に注意する
- ◆ 具体的な防除薬剤は、各JAの水稲防除暦を参考にして下さい

（例）

- ・スタークル顆粒水溶剤（2000倍、7日、3回）
- ・キラップフロアブル（2000倍、14日、2回）

※上記2剤はウンカ類・カメムシ類等に登録有り

スタークル顆粒水溶剤はカメムシ類に2000倍で登録

トビイロウンカの発育と防除効果

- ・卵・・・農薬の効果はかなり低い
- ・幼虫・・・農薬の効果は高い
- ・成虫・・・農薬の効果は幼虫より低い